



発行所：メディカルサテライト八重洲クリニック

東京都中央区八重洲 1-5-9 八重洲アメリックスビル 9F



0120-786-055

TEL03-3516-8020 FAX03-3516-8022

『心臓MRI』を開始いたしました

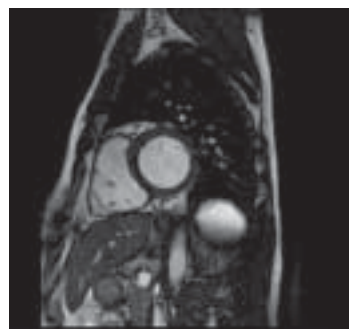
従来、MRIは動きに弱い検査法であり、動きのある部位には不向きでした。

しかし、近年のMRI装置とソフトの進歩は目覚ましいものがあり、人体で最も動きの激しい心臓領域までもがMRIの検査対象となって参りました。

当クリニックでは、フィリップスより最新のMRI装置を導入し心臓検査を実施いたします。

心臓検査は、以下の3つのカテゴリーに分類することができます(従来は他の検査機器によって検査が行われてきました)。

1. 心筋壁運動の評価(従来からの検査：心エコー)
2. 心筋梗塞の評価(従来からの検査：核医学検査のSPECTなど)
3. 冠動脈の評価(従来からの検査：入院を伴うカテーテル検査)



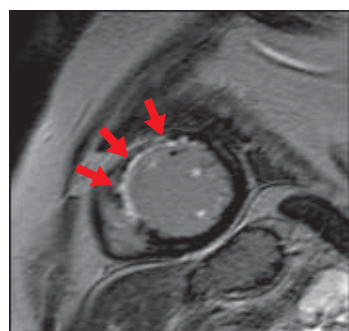
(a)心臓短軸像



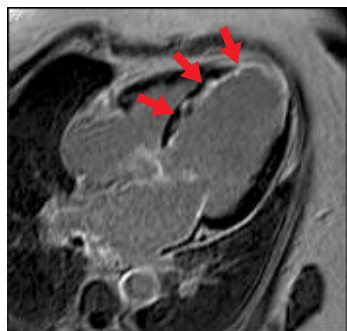
(b)心臓長軸像

1. 心筋壁運動の評価

MRIは従来、静止画しか撮像できませんでしたが、当院に導入した最新MRIでは、動いている心臓を動画(Cine画像)として撮像できます。そこで、心駆出率、拍出率、拍出量、心容積などの評価が可能です。



(a)心臓短軸像

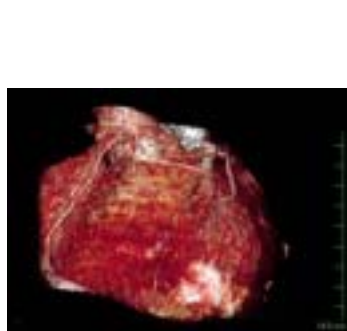


(a)心臓長軸像

2. 心筋梗塞の評価

(造影剤が必要となります)

MRIによる心筋梗塞の評価検査では、核医学におけるSPECT検査よりも高分解能で心筋状態を描出することが可能です。左図では、黒く描出された正常心筋に対し、心筋梗塞部位が白く造影されている様子がわかります。



冠動脈

3. 冠動脈の評価

(造影剤は必要ありませんが、脈をゆっくりにするお薬が必要となる場合があります。)

心臓の動きに合わせてデータ収集する技術(心電図同期)を用いることで、冠動脈の形態の描出が可能となり、狭窄などを見つける事ができます。

メディカルサテライト八重洲クリニック顧問
東京医科大学第二内科 平野雅春

< 心臓MRIのご予約について >

当院における心臓MRIの検査メニューは、以下の2種類です。

(検査1) 心筋梗塞の評価のMRI (造影)

(検査2) 冠動脈の評価のMRI (単純)

1回の検査では、どちらか一方を実施させていただきます。(原則として、初回は(検査1)の方から実施させていただきます。理由については、後述をご参照ください。)

(検査1) 心筋梗塞の評価のMRI

検査目的・・・心筋壁運動の評価(Cine画像撮影)を行うと共に、造影撮影により心筋梗塞の有無を判断していきます。

心エコー等で動きが悪いことを確認している場合や心電図において心筋梗塞が疑われる場合には、その旨も検査依頼票にご記入いただければ幸いです。

検査時間・・・40分

造影・・・・・・有り したがって、喘息やMRI造影剤過敏症の既往の有る患者様は、検査ができませんので、貴院において事前確認をお願いいたします。

(検査2) 冠動脈の評価のMRI

検査目的・・・冠動脈を描出し、狭窄部位などの検索、評価を行います。

検査時間・・・40分

造影・・・・・・無し

制約・・・・・・この検査の実施には、原則として、前もって当院にて心筋梗塞の評価のMRIが実施済みであることが前提となります。冠動脈の評価検査には、以下の条件が必要となってくるため、心筋梗塞の評価検査を行う際に、同時に、冠動脈の評価検査に必要な条件をクリアしているかの確認を行い、検査実施の可否を判断いたします。
(可否判断の結果については、画像診断報告書に記載いたします。)

必要な条件・・・非侵襲的に冠動脈を描出できる代わりに、以下の3つの条件が必要となります。

(1) 心拍数が65以下であること。

ブロッカー(ロプレソールなど)の処方により心拍数を65以下へコントロールしていただくことをお勧めしております。

(2) 不整脈が無いこと。

(3) 検査時の呼吸が安定していること。

検査可能日・・・冠動脈の評価検査の実施は、現在は、土曜日のみです。

検査料金について

当クリニックにおける心臓MRIの健康保険適用による患者様負担額(3割をご負担される場合) は以下となります。

(検査1)心筋梗塞の評価のMRI・・・14,000円前後(3割負担の場合)

(検査2)冠動脈の評価のMRI・・・8,000円前後(3割負担の場合)

画像をCDでお渡しすることも出来ます。

ご予約の際にお申し付けください(料金は別途3,150円が掛かります)。

ワークステーションを導入しました。

このたび、(株)AZAのワークステーションを導入いたしました。それに伴い、3D(3次元)の画像作成が可能となりました。CT検査における骨部分について、3D画像を作成いたしますので、ご用命ください。

詳細につきまして、別紙をご参照ください。

脂肪肝

1. 脂肪肝とは

健康な肝臓には、3%を少し超える程度の脂肪（中性脂肪・コレステロール・リン脂質など）が含まれています。この脂肪濃度が10%を超えると細胞の中に脂肪滴という泡状のものが現れるようになり、脂肪滴が、肝細胞の小さな集合体である肝小葉の中の肝細胞の3分の1以上に現れるようになった状態を脂肪肝といいます。

脂肪肝は、ほとんど自覚症状がないのがふつうですが、肝炎を合併しやすいという特徴もあります。

2. 脂肪肝の原因

脂肪肝の原因は、肥満やアルコールの飲み過ぎなどです。脂肪肝で肝臓にたまった脂肪のほとんどは、エネルギーの過剰摂取や運動不足が原因でたまった中性脂肪です。このため肥満度が20%以上の場合、脂肪肝の発生率が増加します。

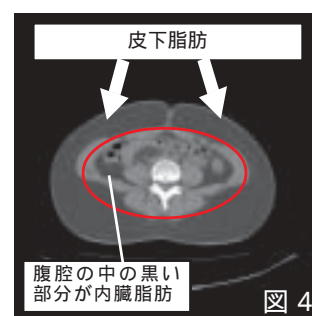
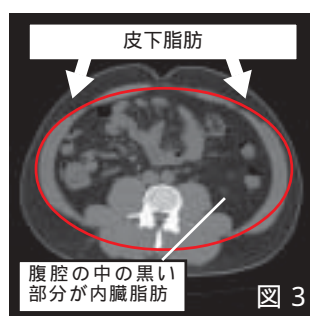
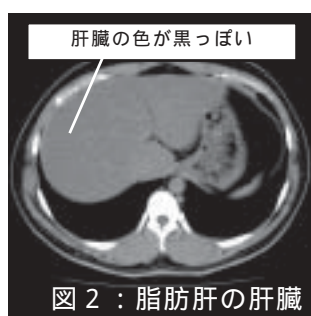
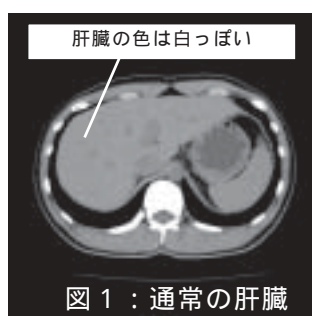
また、アルコールの飲み過ぎが原因で肝臓に中性脂肪が溜まったアルコール性脂肪肝の人は、肝臓の繊維化が進むため肝硬変に進行しやすくなります。

脂肪肝のある人は、動脈硬化や高血圧になりやすく、肝硬変や肝炎以外にも心臓病や脳卒中のリスクも高い場合が多いので、健康的なライフスタイルを心がけましょう。

3. 画像診断

脂肪肝は、CT画像では図1、図2のように鑑別されます。

このような脂肪肝の方のお腹は図3のように内臓脂肪が顕著に見られます。このような方には生活習慣の改善が必要不可欠です。



一方で、ウエストが太い方でも図4のような方は、皮下脂肪型ですので、上記の内臓脂肪型とは異なります。

4. 患者様への『生活習慣改善アドバイス』として

肥満を解消したり、禁酒を実行したり、血糖値を正常に戻すなど原因を取り除くことで脂肪肝はほとんど解消しますので、画像診断にて脂肪肝と診断された場合、以下の様なアドバイスのポイントが挙げられます。

< 脂肪肝の予防のポイント >

- 肥満にならないよう食事、運動で体重をコントロールする
- アルコールを飲み過ぎないようにする
- 運動不足にならないようにこまめに体を動かす
- 食べ過ぎないようにする

ご参考にしていただければ幸いです。ありがとうございました。

ゴールデンウィーク中の診療日について

	日	月	火	水	木	金	土
4月	24 9-19	25 9-21	26 9-21	27 9-21	28 9-21	29 9-19	30 9-21
5月	1 9-19	2 9-21	3 9-19	4 休診	5 休診	6 9-21	7 9-21

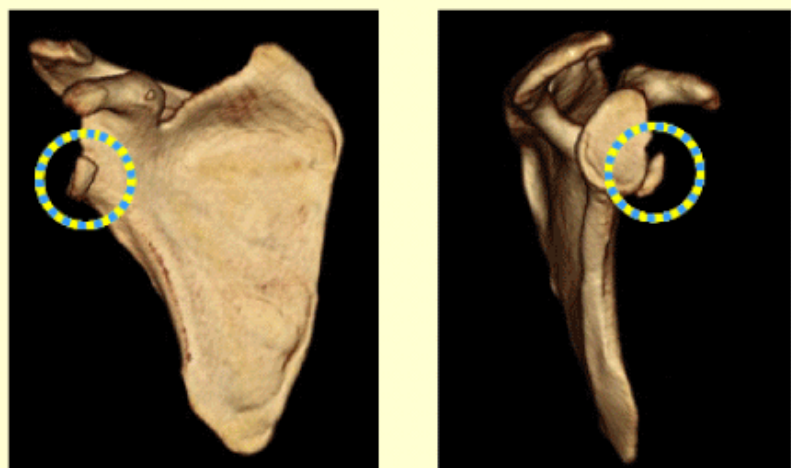
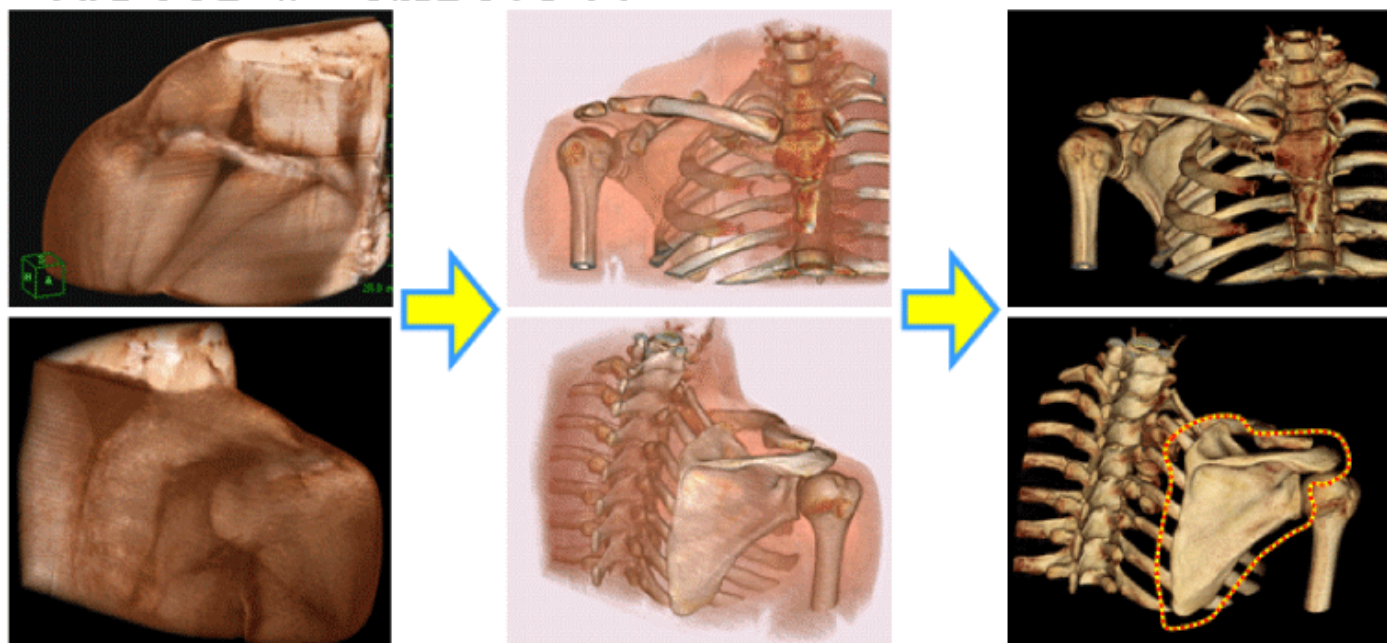
5月4日(水)、5日(木)のみ、装置の保守点検のために休みとさせていただきます。ご不便をおかけいたしまして、申し訳ありません。その他の日は、通常どおり診療をさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

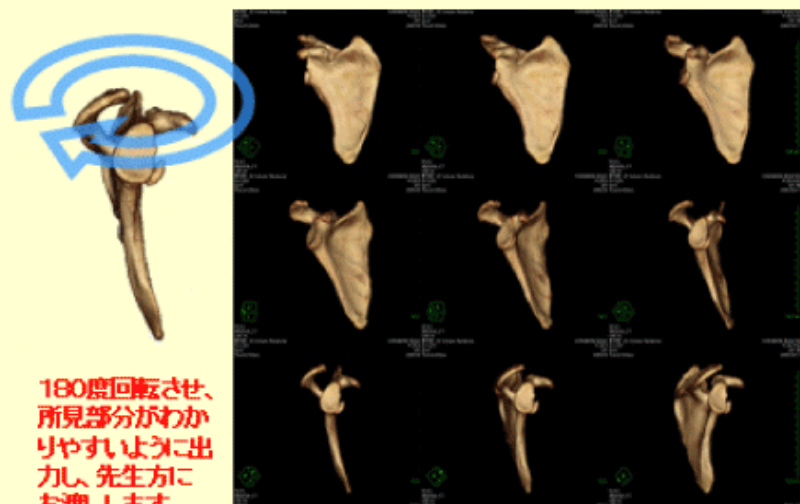
高精細3D画像をご提供できるようになりました。

メディカルサテライト 八重洲クリニックは、以前より整形外科の先生方からのご要望であった3Dワークステーションを導入いたしました。これにより単純CT画像に加え、高精細3D画像のご提供が可能になりました。

ワークステーションを用いてCT画像を3D化することにより、3次元的な診断が可能となります。

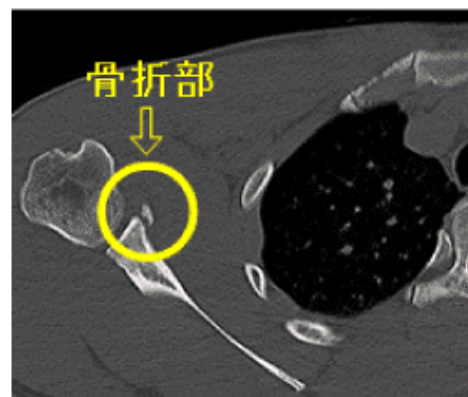


更に肩甲骨だけを抽出し、骨折部分を明確に描出します。

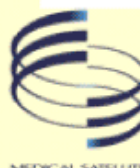


180度回転させ、所見部分がわかりやすいように出力し、先生方にお渡しします。

※お届けする3D画像(イメージ図)



これまでの単純CT画像



※お問い合わせ

メディカルサテライト 八重洲クリニック

TEL: 0120-786-055 FAX: 03-3516-8022

URL: <http://www.m-satellite.jp/>

Email: info@m-satellite.jp

MEDICAL SATELLITE